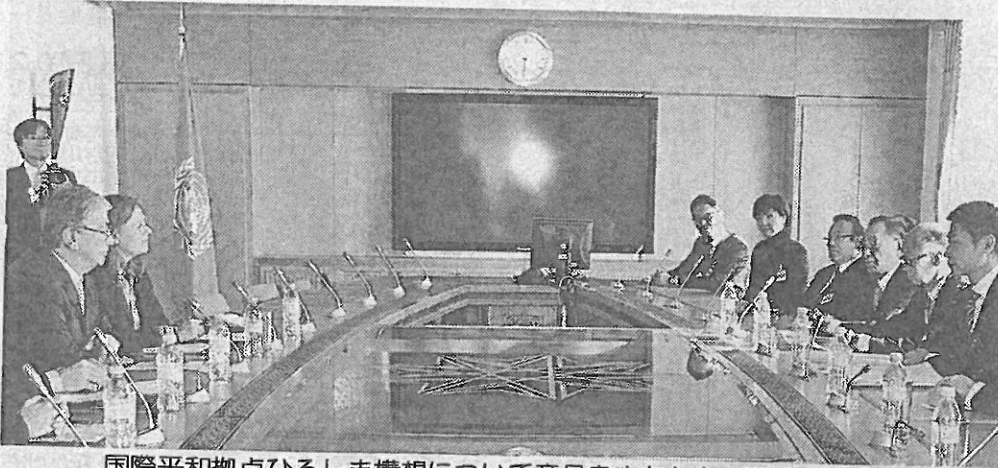


「ひろしま構想に協力を」

国連欧州本部 知事、事務局長に要請

【ジュネーブ野崎建一郎】欧州訪問中の湯崎英彦広島県知事は1日、スイス・ジュネーブ市の国連欧州本部でカシムジョマルト・トカエフ事務局長と会談

し、「国際平和拠点ひろしま構想」への協力と被爆地訪問を要請した。トカエフ氏は支援する考えを示し、来年夏に広島市を訪れる意向も表明した。



国際平和拠点ひろしま構想について意見を交わした国連欧州本部のトカエフ事務局長（手前左）と湯崎知事（右端）

会談は非公開で約30分。松山俊宏団長たち9人の県議団も同席した。会談後に取材に応じた湯崎知事によると、核軍縮を多国間の専門家たちで協議する

湯崎知事は会談前日の31日、広島市中区に広島事務所を構える国連訓練調査研究所（ユニタール）も訪問。サリー・フィーガンワイルズ本部長と会い、平和構築に取り組む人材育成などで連携を深めることを確認した。前広島事務所長で、ユニタールのアレクサ

トカエフ氏は、国連軍縮会議の議長も務める。湯崎知事は「来年夏に軍縮会議の主要メンバーとともに広島に来てもらい、平和構築について議論してほしい」と要請。トカエフ氏は「喜んで訪問したい」と応じたという。

「卓会議の広島開催や、核保有国の軍縮の取り組みを評価する成績表の構想について、湯崎知事が説明。トカエフ氏は「非常に重要な構想。各国への広報面で支援したい」と答えた。湯崎知事は、紛争犠牲者の支援などに当たる赤十字国際委員会（ジュネーブ市）も訪れ、クリスチーン・ペーアリ副総裁と面会。核兵器廃絶を目指して連携策を探ることを申し合わせた。

2 November 2012, Chugoku Shimbun
The Governor of Hiroshima and 9 members of Hiroshima Prefectural Assembly members visited United Nations Office at Geneva and asked for the support towards “Hiroshima for Global Peace Plan”.